

【結果公表】

弥富市公共施設再配置計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

案件名	弥富市公共施設再配置計画(案)		
募集期間	令和2年1月6日(月)～令和2年2月6日(木)		
担当課	総務部 企画政策課		
募集結果の概要	弥富市公共施設再配置計画(案)に対する意見を募集した結果、5人の方から22件の意見が提出されました。		
意見提出数	持参	3人	14件
	郵送	0人	一件
	ファクシミリ	2人	8件
	電子メール	0人	一件
	合計	5人	22件

提出された意見と市の考え方

NO	意見・提言の概要	市の考え方
1	P16 社会教育系施設（歴史民俗資料館） 大地震に耐えられないと想定から速やかに解体をすべきだと思います。	歴史民俗資料館につきましては、新庁舎の建替えに合わせ現在の保健センターへ移転を予定していますが、本計画において、第Ⅰ期に解体予定としています。
2	P17 スポーツ・レクリエーション系施設（市民プール） 小学校の夏休みのプールもなくなり、市民プールも解体。近隣の自治体のプール等を安く利用できるような対策をして欲しいです。	更なる市民サービス向上に努める上で、参考とさせていただきます。
3	P18 産業系施設（農村環境改善センター） 大地震に耐えられないと想定から速やかに解体をすべきだと思います。	農村環境改善センターは、新耐震基準の数値を満たした建物であり、当面の利用に問題はないと考えていますが、本計画において、第Ⅱ期に解体予定としています。
4	P20 学校教育系施設（小規模4校統廃合） 適正規模化に賛成です。 反対意見も多くて大変かと思いますが、早く実現することを願います。	小規模校における統廃合につきましては、教育委員会と共に保護者や地域の方と対話をしながら進めていきますが、検討を進める上で、参考とさせていただきます。

5	<p>P20 学校教育系施設(小規模 4 校統廃合)  統廃合が前提、お金のことばかりが先立ち、子供たちの健やかな成長や発達に関して考慮がなされていないのではないかと。  スクールバスの導入の検討もされていますが、栄南学区内をバスでまわり通学すると今以上に時間がかかり、子供たちへの更なる負担が考えられます。また、バスの交通事故、運転手の突然発作等に対する対策は考えられていますか。市街化調整区域は、家が自由に建てられないことから人口が増えないことが予想されますので、発想を転換し、市中心部なら集合場所に子供たちを集めやすい事から栄南小学校や大藤小学校を英語や数学の特区に指定し希望者を市中心部よりスクールバスで通学させる案を提案致します。  統廃合には反対です。</p>	<p>子供たちがのぞましい教育を受けられよう教育環境の向上を図ることを優先に、適正規模化(各学年 2 クラス以上)について、教育委員会と協議をしながら検討を進めるところです。  また、今後は人口減少や生産年齢人口の減少による市税の減収が想定されることから、社会的ニーズに沿った魅力ある小学校にしていくには、効率的な維持管理手法も視野に入れなければならないと考えています。  スクールバスの導入促進に関しましては、統廃合を検討する中で安全・安心な通学手段となるよう協議を重ね、検討していきます。</p>
6	<p>P20 学校教育系施設(小規模 4 校統廃合)  近隣市町村でも学校教育系施設の統廃合、縮小が住民の意向を無視して進められようとしています。  市は、子供の減少、校舎の老朽化、厳しい財政状況をあげて学校の統廃合を進めようとしています。保護者や地域の人とよく話合ってください。</p>	<p>該当地区の小学生、保育所児等の保護者 482 人に「子どもの教育環境に関する調査」アンケートを実施しました。その結果、457 人の 94.8%の回答率を得られました。そのアンケート結果から小学校の児童数が極端に少ないことは、これからの教育環境として好ましい状態ではないと思っている方が 67%もみえることが分かりました。  このような状況を踏まえ、小規模校における統廃合につきましては、教育委員会と共に保護者や地域の方との対話をしながら検討を進めたいと考えています。</p>
7	<p>P20 学校教育系施設(小規模 4 校統廃合)  人口の多い・少ないという基準で公共施設(学校)を統廃合すれば、人口の少ない地区の反発を招きます。今一度、再考を願います。  居住地域の学校区でない人も、小規模校へ通学できるようにし、小規模校の生徒には特別に学習面で便宜をはかるようにする。(空き教室で児童クラブや学習塾を運営し安い料金で提供する。)  小規模校間で生徒が容易に移動できるようにスクールバス等を提供して、運動会や学校行事を合同で行えるようにする。  小規模校の運営を学校法人に任せ、特色のある学校にして他地域からも入学したいような学校とする。(複数校運営とする。)</p>	<p>同上</p>

8	<p>P20 学校教育系施設(小規模 4 校統廃合)  大藤小学校と栄南小学校、十四山東部小学校と西部小学校の2校どうしの統合なら賛成です。十四山中学校は、生徒数が少なくなくても今まで通りで一校として欲しいです。  また、小中一貫は反対です。</p>	<p>小規模校における問題の一つとして、各学年 1 クラスになってしまうような単学級の問題があります。小学校入学から卒業までクラス替えがなく、学校生活をそのまま過ごさなければなりません。また、音楽などの専門的な先生の配置がされない等の問題があります。  そこで、ご意見を頂きました十四山地区の十四山東部小学校と十四山西部小学校を統合した場合の児童数を見ますと、令和4年度には1年生の人数が 34 人となり単学級となります。また、大藤小学校と栄南小学校についても同様のことが言えます。  教育環境をより良くするには、各学年 2 クラス以上となるような規模で検討を進める方が適正であると考えています。</p>
9	<p>P20 学校教育系施設  (十四山東部小、十四山中学校の体育館)  十四山東部小と十四山中学校には学校の体育館は有りません。公民館の講堂と十四山体育館を流用しているにすぎません。  十四山東部小の体育館はアリーナが小さく規格寸法のバスケットボールコートを取ることが困難です。十四山中学校は校舎と体育館に渡り廊下が無く雨天の時は 100m 以上、傘をさして移動しなければなりません。  早期に、解決する必要があります。</p>	<p>十四山東部小学校の講堂と十四山中学校の体育館につきましては、小中学校の統廃合の検討の中で対応方針を決めていきたいと考えています。</p>
10	<p>P20 学校教育系施設(学校給食、学校教育)  支出を抑える為に公共施設の再配置を進めることは必要ですし賛成です。  同時に住民を増やして税収を増やす(わざわざ移住したくなるような市にする)ことも必要だと思います。その為には、子育て環境が充実していることは必要かと思えます。  東郷町では、アレルギーフリーの給食が全校生徒に提供されたとニュースで見ました。愛知県でもオーガニック給食の流れがあると聞きます。東京の麹町中学校では宿題がなくなったけど学力が伸びるという教育革命も起こっています。田舎の良さを活かしてパーマカルチャーを取り入れるのもいいと思います。</p>	<p>少子高齢化による人口構造の変化、人口減少、また、それに伴う市税の減収に関しましては、全国的にどこの自治体も大きな問題となっています。当市としましてもその問題に直面し、様々な取組みを検討して魅力的で活力あるまちづくりに取り組んでいるところです。いただきましたご意見を参考に更なる魅力向上に努めたいと思います。  また、学校教育環境の整備に関しましては、いただきました意見を参考に教育委員会と協議をしながら、学習環境、生活環境、そして社会的ニーズに沿った魅力ある教育環境の整備に努めたいと考えています。</p>

11	<p>P20 学校教育系施設(学校給食)</p> <p>自校調理には大変メリットがあると思います。子供たちの食育を考えるなら、温かく美味しい給食、作った人の顔が分かる自校調理を変えるべきではないと思います。共同調理を行った場合、食中毒防ぐために菌の増える温度帯から冷たい温度まで下げないといけません。各小学校で温めなおさないと作業が必要となり、味に影響します。配達中の異物混入、食中毒、味、運搬時の事故など問題が起こってからでは人命に係わります。委託業者に責任丸投げになりそうで心配です。</p> <p>お金の事ばかり先立ち、子供たちの健やかな成長や発達に関して考慮がされていないのではないのでしょうか。</p>	<p>給食の自校調理については、調理後、短い時間で配膳できるため安全で、また適温提供できる等のメリットがあります。それを考慮しつつ、業務効率性を高める取組を見直し検討していきます。</p>
12	<p>P20 学校教育系施設(学校給食)</p> <p>市の学校給食は自校調理で長年行ってきましたが、施設の老朽化が顕著で給食施設に要求される衛生面での改修は面積上の制約の為に不可能です。</p> <p>自校調理も魅力的ですが、給食センター化によって早期に施設を改善することが現実的です。</p>	<p>各小中学校の長寿命化の実施に向け、参考とさせていただきます。</p>
13	<p>P23 子育て支援施設(保育所)</p> <p>再配置方針では、弥生保育所と西部保育所のいずれか及び桜保育所とひので保育所のいずれかを民間に譲渡し、民営化及び認定こども園化を検討。また、人件費を含む維持管理費の負担や保育園の老朽化の改修費が厳しい等が言われています。</p> <p>民営化は、保育の質の低下になるため現在の保育所9園は市営として残して欲しいです。</p> <p>民営化は反対です。</p>	<p>市の保育所につきましては全9施設あり、建物面積の状況を人口規模で近隣自治体と比較しますと当市は倍以上の建物を保有し、市民1人当たりに係る財政負担が大きい状態となっています。</p> <p>また、保育所の民営化については、休日保育や夜間保育等の保育ニーズに対応する他、通園の選択肢が増えることを理想と考えています。また、民営化については、認可保育所として適切に指導、監督していくために質の低下にはならず、保護者の皆様と話し合いながら進めていきたいと考えています。</p>
14	<p>P23 子育て支援施設(保育所)</p> <p>保育園の民営化と認定こども園化は、選択肢が広がるので賛成です。</p> <p>市が運営する幼稚園と言う選択肢はありますか？どこの園が入るか住民の意見は取り入れられるのでしょうか？食に拘っている園ができれば嬉しいです。</p>	<p>幼稚園の機能を持った認定こども園化を含め子育て支援施設の再配置を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、保育所の民営化に伴う法人の選定方針につきましては、今後の検討課題と考えています。</p>

15	<p>その他(公共施設全般)</p> <p>市内の公共施設には、耐震改修が行われていない古い施設も一部残っていますが、公共施設の再配置に伴って早急に解体撤去する必要があります。</p>	<p>他施設の耐用年数及び更新時期等を考慮し、廃止時期等の検討を進める上で、参考とさせていただきます。</p>
16	<p>その他(公共施設全般)</p> <p>公共施設(特に学校)の統廃合は飛島村との合併も含めて該当地区の住民投票で、決定する必要があります。</p> <p>防災面での連携、地域発展の為に飛島村と合併を強く推し進めてください。</p>	<p>公共施設の再配置につきましては、市民の皆様説明を重ね推進したいと考えています。また、社会的ニーズに沿った魅力的な公共施設とするためには、近隣自治体との広域連携も視野に入れて検討を進めて参ります。</p>
17	<p>その他(公共施設全般)</p> <p>市の公共施設再配置計画(案)は、人口の多い地域の立場から考えた案です。納得がいきません。</p> <p>公共施設の再配置を推し進めるには、痛みを伴うことですので地域の振興策とセットで進めないと住民の理解が得られないと思います。少数派の意見も最大限考慮してください。</p>	<p>公共施設再配置計画につきましては、安全性の確保と機能の複合化、教育環境の充実、施設の効率的な利用等の基本方針に基づき、施設の利用状況、施設の老朽化、建物の耐用年数及び地域性を考慮し、市民の皆様説明を重ね推進したいと考えています。</p> <p>また、地域活動がより活発となるような魅力的な施設への転換も含め検討を進めて行きたいと考えています。</p>
18	<p>その他(魅力的な公共施設の提案)</p> <p>教育のサービスを大規模校と小規模校を同じにしようとすると結果的に小規模校が排除されてしまうので各学校の裁量で魅力的な学校になるよう制度改革を行う必要があります。小規模校には、外国人の生徒も優先的に入学できるようにし小学校の時から国際性を養う場とする。(宗教に配慮した給食、民族衣装の着用の許可、民族間の多用性を認め合えるよう配慮した授業の提供)</p>	<p>公共施設の再配置の実施に向け参考とさせていただきます。</p>
19	<p>その他(魅力的な公共施設の提案)</p> <p>現保健センターは、検診車での検診時の待合室、市民の文化活動の拠点等の多目的コーナーの利用が良いと思います。</p>	<p>保健センターの新庁舎への移転に合わせ、現在の保健センターへは歴史民俗資料館の移転を予定していますが、検討時の参考とさせていただきます。</p>
20	<p>その他(魅力的な公共施設の提案)</p> <p>十四山支所の議場は、天井が高いので美術館や資料館への転用は可能。歴史民俗資料館は天井が高く取れる十四山支所へ移転したほうが良いと思います。</p>	<p>歴史民俗資料館につきましては、現在の保健センターに移転予定として市民ワークショップが進められています。いただきました意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

21	<p>その他(まちづくり)  子供を増やす為には、まず住宅がどんどん出来る様な宅地造りをやってほしいです。まずは、弥富市(特に十四山地区)に人口を増やすことを考えて欲しいです。</p>	<p>今後のまちづくりの取組として、参考とさせていただきます。</p>
22	<p>その他(まちづくり)  お金がない予算削減がしたいとの内容。教育を削る前に他に削るところが沢山あると思います。  弥富市南部の税収は市の何割有りますでしょうか。近年、市中心部に住宅や人を増やしていますが、一時的に市民税や宅地建物税は予想されますが、将来に高齢者の医療費など逆に負担が増えるのではないかと心配しています。  人口それぞれ税収たっぷりの市を作っていくべきだと思います。弥富市南部地区の税収を市の南部に回してください。</p>	<p>少子高齢化による人口構造の変化、人口減少、また、それに伴う市税の減収に関しましては、全国的にどこの自治体も大きな問題となっています。当市としましてもその問題に直面し、様々な取組みを検討して魅力的で活力あるまちづくりに取り組んでいるところです。  また、本計画につきましては、限られた財源の中で教育系施設に限らず社会的ニーズに沿った公共施設を維持するために必要な取組となります。</p>

意見募集時の公表資料

弥富市公共施設再配置計画(案)

閲覧場所及び問合せ先

総務部企画政策課 行政経営グループ 電話 0567-65-1111 内線226